

PZA・PXA 型用生地搬送ベルト交換方法

作業を行う前に必ず機械のコンセントを抜いて下さい。また、危険防止のため軍手を着用して下さい。

ベルト交換作業中は怪我をしないよう十分にご注意下さい。また、交換作業に自信の無い場合または、危険と感じる場合には専門業者にご依頼下さい。

この作業に使用する工具類

軍手

六角レンチ（6mm）

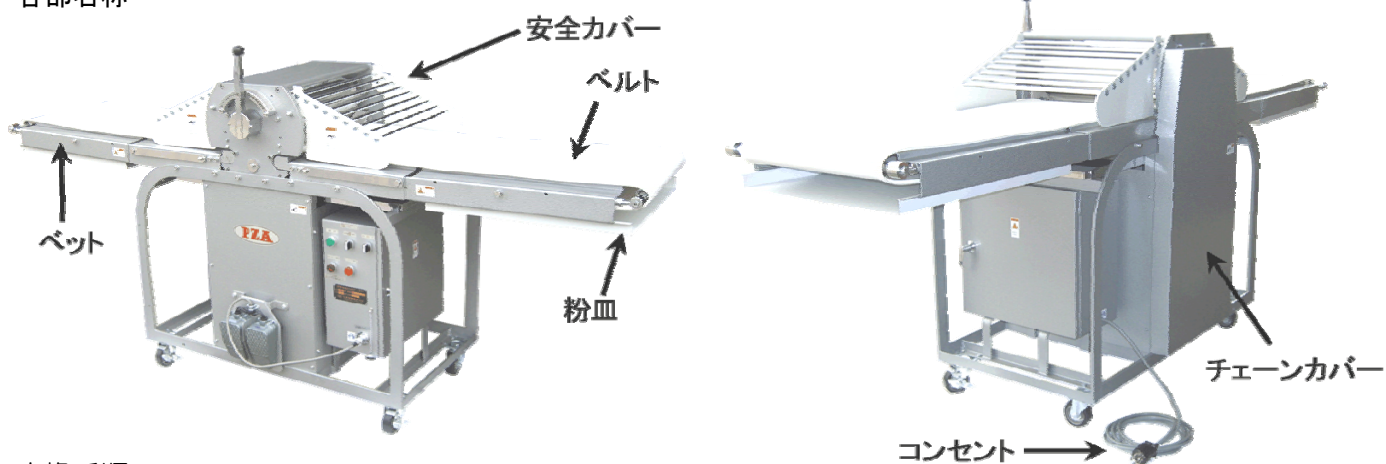
スパナ等（13）

ラジオペンチなど

＋ドライバー各1本

古新聞

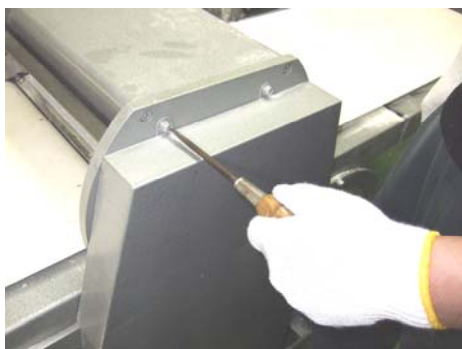
各部名称



交換手順



1.機械が停止していること、コンセントを抜いてあることを確認の後、安全カバーを外します。



2.後ろ側のチェーンカバーを止めているネジ2本を外します。ネジを全て外しますとカバーが倒れる恐れがありますのでカバーを押さえながら作業して下さい。



3.チェーンカバーを外します。カバーを落下させると破損する危険、及び足などを怪我する恐れがございますので取扱いには十分お気をつけ下さい。



4.ベットの折りたたみ、粉皿を抜き取ります。(下写真)
受けロールのナットをベルトが緩む方へ回します。(左写真)



5.ベルトを回しているチェーンを外します。
外した細かい部品やチェーンは、油や汚れがついていますので古新聞の上などに置いて下さい。

チェーンのジョイント部を探し、写真のようにラジオペンチなどでU字のフックを外します



フックの下についているプレートを外します。

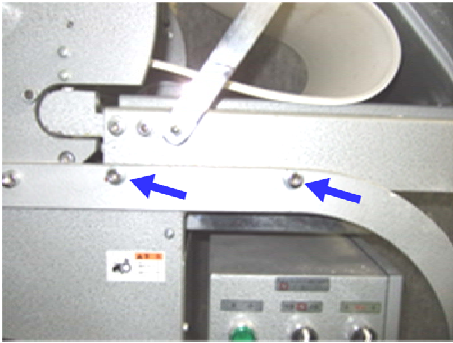


裏側から差し込んである金具を外すとチェーンをとることができます。外した部品は紛失しないようご注意ください。



6.ベット（テーブル）を固定している前側・後ろ側計4本のボルトを外します

表側がキャップボルト、裏側がナットで固定してありますので裏側のナットをスパナ等で押さえながら、表側のボルトを回して下さい。



7.キャップボルトを4本外せばベットは外せます。

ベットを外す前に、ベットを置くスペースを確保して下さい。また、外す際に手などをベット（特に折りたたみ部）に挟まないようご注意ください。



8.ベットを降ろしたら、写真の様な状態で古いベルトを抜いて新しいベルトと交換して下さい。

古いベルトを外した際に、ベットと機械本体を掃除する事をお勧めいたします。

新しいベルトをはめたら、取り付け時には次ページの【取り付け時の注意点】を参照の上、これまでの逆の手順で本体に取り付けて下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい

マサキ

正城機械株式会社

TEL 048(974)3121(代)

FAX 048(975)8576

<http://www.masakikikai.com>

取り付け時の注意点



1. ベット固定の際は写真のように表側がキャップボルトと平ワッシャー、裏側が平ワッシャー・スプリングワッシャー・ナットの順に取り付けて下さい。

取付の際は調整が必要ですので、ベット固定の4本のボルトは仮締めにして下さい。



2. ベットを仮固定したら、まずチェーンを取り付けます。チェーンが短くて掛からない場合はベットをロール側に押し込んで、更にベットを折りたたむとチェーンが掛けやすくなります。チェーンの取り付け後、ベルトの張り調整をしてください。ベルト調整後、下側のカス取り板のスプリングをフックから外し、カス取り板を反転できるようにして下さい。



3. カス取り板とベルトのすき間を確認します。

ベルトとカス取り板のすき間の目安は約2～3mm程です。ベットの位置を調整し、カス取り板が反転できる位置でベットのボルトを本締めします。

すき間が大きすぎると、生地がすき間から落ちてしまいます。すき間が小さすぎると、カス取り板が反転出来ません。また、ベルトを損傷する場合があります。



4. ベットを固定したら、チェーンの張りを調整します。

チェーンがかなり緩くなっていたり、ピンピンに張りすぎていたりするようであれば、写真の様に駆動軸を固定しているボルト2本を少し緩めて、チェーンの張りを調整して下さい。

駆動軸を上げると張り、降ろすとチェーンは緩みます。マイナスドライバーなどを駆動軸の下に差し込み、適度な張り状態で、ボルトを締めて固定して下さい。

駆動軸の調整を行った際は、正面側の駆動軸の取り付け角度も調整し、駆動軸がほぼ水平になるようにして下さい。また、再度カス取り板の反転を確認して下さい。

駆動軸を一番上げた状態でもチェーンの緩みが解消出来ない場合は、新しいチェーンと交換して下さい。